

情報公開文書

(S25-14)

研究課題名	急性胆道炎のベストプラクティス探求に関する日本台湾国際共同研究:急性胆嚢炎－日本肝胆膵外科学会 国際胆道炎特別研究プロジェクト委員会－
研究期間	診療録の検索期間として、 西暦 2011 年 1 月 1 日から西暦 2012 年 12 月 31 日の 2 年間
研究の目的と意義	これまでに明らかにされていない胆道感染症の最適治療法(ベストプラクティス)について、国際胆道感染診療ガイドライン Tokyo Guidelines 2013 (TG 13)の推奨事項について、アウトカム指標により検証することを目的に、参加協力施設で西暦 2011 年 1 月 1 日から西暦 2012 年 12 月 31 日の 2 年間に治療を受けられた約 200 名の患者さんのデータを収集します。収集されたデータについて解析・公表することによって、胆道感染症患者の医療・福祉に貢献できると考えられます。
研究方法	過去 2 年間 (西暦 2011 年 1 月 1 日から西暦 2012 年 12 月 31 日まで) に治療を受けられた約 200 名の患者さんの診療録の中から必要なデータだけを用い、胆道感染症の最新疫学、胆嚢ドレナージ療法と手術、抗菌薬治療および臨床的アウトカム指標等について統計学的な解析を行います。 また、データは匿名化されるので、プライバシーの侵害は起こりません。患者さんの個人を尊重し、個人情報厳重に保護し、取り扱いには十分留意し、「疫学研究に関する倫理指針」を遵守して実施しております。
個人情報の保護、 研究参加の拒否について	利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。 また、本研究への参加拒否を希望される患者さんについては、担当医師にお申し出ください。
結果の公表	この研究の結果は、研究に関連する学会や学術雑誌等で発表されることがありますが、その際も対象となった個々の症例の報告はなされず、集計されたデータをもとに得られた結果のみを公開し、個人情報は守られます。
問合せ先	<p>【研究責任者】 京都第二赤十字病院 外科 副部長 藤 信明 〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355-5 TEL : 075-231-5171 (代) FAX : 075-256-3451 (代)</p>